

# みんなを笑顔に、世界に元気を!

子どもたちの自由な発想を世界中に発信し、「I Can (できるよ!)」の気持ちを育む取り組み「デザイン・フォー・チェンジ」。日本代表としてマレーシアで開催された世界大会の舞台上に立った本田なる実さんにお話を伺いました。



本田なる実さん (分水桜町一丁目)

- 2022 デザイン・フォー・チェンジ世界大会出場
- 分水小学校 3年生



◀ 世界各国から集まった参加者のみなさん。世界大会では発表以外にも交流の場があり、他の国の文化もたくさん知ることができました。

「外国のたくさんの方の前で話すことは緊張したけど、みんな優しく聞いてくれて安心して発表できました」

当日は、世界各国から多くの参加者が集まるなか、本田さんたちが披露したのは自作のミュージカル。台本に歌詞、衣装も全て友だちと2人で考えた力作です。

「魔女っ子の姉妹が修行をしながら、みんなの沈んだ気持ちや寂しさを魔法の力で追い払う物語です。この姉妹が力を合わせ、チャレンジする姿が、外国の人にも伝わるように英語の練習も毎日頑張りました」

大舞台で堂々と発表を披露した本田さんですが、元々は慎重派な性格だそう。それでも進んでミュージカルに挑戦したのは、たくさんの方に

伝えたい思いがあったからでした。「コロナが流行して、会いたい人に会えなくて寂しい気持ちになりました。私だけじゃなく、みんながそうだったと思います。なので、観た人たちに少しでも笑顔や元気を届けたいと思いました」

多くの努力とチャレンジ、初めての海外を経験し、大きな自信と新たな目標ができたといいます。

「新しいことに挑戦するのは大変だけど、『私にもできた』という自信ができました。あと、今回の大会で、色々な国の文化を知ることができ、外国人の友だちもたくさんできました。これからはもっと英語を勉強して、外国の人たちともいっぱいお話ができるようになりたいです」

※「デザイン・フォー・チェンジ」…「Feel」「Imagine」「Do」「Share」の4ステップで自由な表現・創造をすることから、子どもたちの「できるよ!」を育むデザインシンキングプログラム。2009年から世界65カ国以上、200万人以上の子どもたちに広がっている。

## 紙上ブログ



燕市長 鈴木力

明けましておめでとうございます。

昨年は大河津分水通水百周年。さまざまな記念事業を実施し、大河津分水が果たしてきた役割、それに携わってきた先人たちの功績について、広く発信することができました。

今年も第三次燕市総合計画の初年度になります。先人たちの情熱を受け継ぎ、ふるさとを次の百年へつなげていくため、幸先の良いスタートを切りたいと思っております。

うさぎ年です。この三年間感染症拡大で私たちの気持ちも活動も停滞気味でした。今年こそ、うさぎのようにぴよんと大きく飛躍する年になるといいですね。

◀ こちらは有料広告です。

今年も! おかげさまで **高評企業に選ばれました!**

高評 オリコン 顧客満足度 2022

光インターネット・ケーブルテレビ・電話

**NCT**

燕・分水・吉田 高評企業

お申し込み好評受付中!

0120-080-009

電話受付時間 9:30~17:30 (ドコモ光タイプに関しては10:00~19:00) ※上記時間以外・土日祝・お盆期間・年末年始は時間外受付に転送されます。

インターネット・ケーブルテレビ・電話 エヌ・シー・シティ

※この広報紙は、環境にやさしいページタブル・オイル・インクを使用しています。